



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 アテクト 上場取引所 東  
 コード番号 4241 URL <https://www.atect.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小高 得央  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部次長 (氏名) 菅原 偉夫 (TEL) 0748-20-3400  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	664	△12.5	13	△77.0	7	△84.2	8	△72.1
2020年3月期第1四半期	759	8.5	60	5.5	46	△9.2	31	△10.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 11百万円(△20.6%) 2020年3月期第1四半期 14百万円(△52.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	1.97	—
2020年3月期第1四半期	7.11	7.05

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,539	1,619	29.1
2020年3月期	5,338	1,626	30.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,609百万円 2020年3月期 1,610百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	4,416,100株	2020年3月期	4,416,100株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	15,748株	2020年3月期	15,688株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	4,400,402株	2020年3月期1Q	4,380,293株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、長引く米中貿易摩擦の影響及び新型コロナウイルス感染拡大の影響が広がった結果、グループ連結売上高は4期連続で拡大の一途であった半導体資材事業において前年同期比14.4%減（出荷数量5.1%減）、衛生検査器材事業においては緊急事態宣言解除後も需要の回復は鈍く、7.5%減となりました。また、PIM事業については半導体設備や工作機械の世界的需要低迷により、立上完了済の新規案件の受注数量が想定を大きく下回り、売上高は57.6%減となりました。他方、半導体資材・衛生検査器材の2大コア事業においては他の産業と比較し、極端な受注の落ち込みは少なく、生産調整は必要最低限に抑えることが出来ました。結果、グループ連結売上高は前年同期比94百万円減（12.5%減）、稼働損及び在庫の圧縮により、売上総利益は71百万円の減少となりました。一方で販売管理費については、25百万円の改善により、営業利益は13百万円の黒字で着地致しました。

出口の見えない新型コロナウイルスによる恐慌の中で『内部留保を厚くする』為の施策として、生産の密度を向上し、培地製造以外のシャーレ、半導体資材日本生産の稼働日を減らし、併せて間接部門においても輪番制出勤による全社での一時帰休を開始しました。雇用調整助成金の申請と極端な在庫圧縮、稼働調整による光熱費の削減を進め、費用の流出を最小限に抑えて参ります。

また、今後の見通しについては、第2四半期連結会計期間以降、半導体資材に受注回復の兆しがあることから、新型コロナウイルスの影響による損失は更に軽減できる見込みとなっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高664百万円（前年同期比12.5%減）、営業利益13百万円（前年同期比77.0%減）、経常利益7百万円（前年同期比84.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8百万円（前年同期比72.1%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

#### ① PIM（パウダー・インジェクション・モールドィング）事業

##### 1) 高機能部品

前期に獲得した直動型ベアリングをはじめとする高機能部品の量産展開は半導体製造設備や工作機械関連部品が長引く米中貿易摩擦の影響と新型コロナウイルス感染拡大により、想定を大幅に下回る受注状況が今尚、続いております。

また、前第3四半期連結会計期間以降は下述の自動車ターボ部品試作イベントに注力すべく、積極的な新規受注案件獲得の為の営業活動を敢えて抑制しております。更に新型コロナウイルスによる新規中国製焼結炉の導入立ち上げが進捗しておらず前期より、持ち越しになっている高機能部品12品番の検定・検収が当該四半期においても未検収の状態であり、売上高は前年同期を大きく下回りました。

##### 2) 自動車部品：VG（Variable Geometry）ターボ部品

前第3四半期連結会計期間より注力していたディーゼルVGターボ用部品の試作イベントについて、2020年12月の量産開始を目指し進めておりましたが新型コロナウイルスの影響により、客先である自動車メーカー及びターボメーカー関連各部門との評価スケジュールに大幅な遅延が生じております。その中で全ての最終承認用試作部品の提出が6月末に完了（4ヶ月遅れ）し、5品番全ての寸法について合格、一部の性能評価も完了し、今後は客先での最終の実装試験（高温耐久試験）に移行して参ります。PIM事業の経営資源である「ヒト・モノ・カネ」をこれまで以上に本試作イベントに注力し、新型コロナウイルスの影響が続く中で、量産に向けた今後の重要なイベントを着実にクリアし、2021年中旬の量産開始を目指し、鋭意進めて参ります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11百万円（前年同期比57.6%減）、営業利益1百万円（前年同期比69.0%減）となりました。

## ② 衛生検査器材事業

新型コロナウイルスの影響により、外食市場先の受注は減少したものの、中食（惣菜やデリバリー）、内食（食材を調理し食べる）の需要喚起により、売上高は当該四半期の4月までは好調な状態を維持しておりましたが、以降、前年割れが続いております。（前年同月比5月度：18.4%減、6月度：10.5%減）

4月の一時的な需要増は緊急事態宣言に伴う、食料品不足を懸念した買い占めに伴う一過性のものであったと考えており、当面、売上高においては前年同月比5～10%減の低調な状態が続くことを想定し、上述した生産調整や費用の圧縮を進めて参ります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は361百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益は4百万円（前年同期比81.1%減）となりました。

## ③ 半導体資材事業

本事業は当社スペーサーテープを2.7倍消費する4Kテレビの比率拡大の一途により、4期連続で20%以上の成長を遂げて参りましたが、前第3四半期連結会計期間以降、米中貿易摩擦による一部顧客の在庫調整と新型コロナウイルスによる影響により、5期ぶりのマイナス成長となりました。当該四半期においても、数量で前年同期比5.1%減、円高・韓国ウォン/台湾ドル安の影響により売上高で14.4%減となりました。新型コロナウイルス感染拡大の中、韓国での2シフト生産の一時中止と日本での生産調整による一時帰休を実施、更に内部留保拡大の為、大幅に在庫を圧縮しております。

一方で新型コロナウイルスによるパネルメーカーの操業自粛や在庫調整が一服したことから、第2四半期連結会計期間以降は受注回復の兆しが見えてきております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は291百万円（前年同期比14.4%減）、営業利益7百万円（前年同期比75.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ3.8%増の5,539百万円となりました。

これは、「現金及び預金」が176百万円、「建設仮勘定」が69百万円増加する一方、「受取手形及び売掛金」が11百万円、「機械装置及び運搬具」が16百万円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ5.6%増の3,920百万円となりました。

これは、「設備関係支払手形」が29百万円、「長期借入金」が114百万円増加したこと等によるものであります。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ0.5%減の1,619百万円となりました。

これは、「新株予約権」が5百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

長引く米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの収束が依然不透明な中、合理的な通期業績予想の算定を行うことが困難であるため、2021年3月期（52期）の業績予想及び配当予想について未定とさせていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	524,831	701,629
受取手形及び売掛金	422,402	410,785
商品及び製品	255,587	250,399
仕掛品	24,180	19,476
原材料及び貯蔵品	171,994	180,593
その他	69,709	45,512
貸倒引当金	△971	△866
流動資産合計	1,467,735	1,607,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,057,090	1,074,166
機械装置及び運搬具（純額）	684,028	667,762
土地	1,539,795	1,539,795
建設仮勘定	215,834	285,577
その他	162,918	154,395
有形固定資産合計	3,659,667	3,721,697
無形固定資産		
その他	92,402	95,710
無形固定資産合計	92,402	95,710
投資その他の資産		
投資有価証券	3,542	3,120
繰延税金資産	86,801	82,910
その他	29,343	29,413
貸倒引当金	△910	△910
投資その他の資産合計	118,777	114,533
固定資産合計	3,870,846	3,931,940
資産合計	5,338,581	5,539,471

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	359,052	348,835
1年内返済予定の長期借入金	657,878	667,032
リース債務	13,649	13,421
未払金	64,864	62,090
未払法人税等	13,004	2,780
賞与引当金	53,854	24,439
設備関係支払手形	28,730	58,122
その他	57,154	168,392
流動負債合計	1,248,189	1,345,115
固定負債		
長期借入金	2,402,109	2,516,116
リース債務	45,472	42,088
繰延税金負債	56	48
退職給付に係る負債	13,641	14,480
その他	2,148	2,189
固定負債合計	2,463,428	2,574,922
負債合計	3,711,617	3,920,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	809,639	809,639
資本剰余金	729,639	729,639
利益剰余金	156,664	152,146
自己株式	△7,842	△7,897
株主資本合計	1,688,101	1,683,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,540	1,247
為替換算調整勘定	△78,683	△75,471
その他の包括利益累計額合計	△77,142	△74,224
新株予約権	16,005	10,129
純資産合計	1,626,964	1,619,433
負債純資産合計	5,338,581	5,539,471

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	759,204	664,588
売上原価	387,447	364,635
売上総利益	371,756	299,952
販売費及び一般管理費	311,439	286,064
営業利益	60,317	13,888
営業外収益		
受取利息	42	21
為替差益	-	2,170
受取賃貸料	79	59
助成金収入	600	323
その他	254	768
営業外収益合計	976	3,343
営業外費用		
支払利息	4,490	3,985
減価償却費	4,717	5,874
為替差損	5,557	-
その他	114	35
営業外費用合計	14,879	9,895
経常利益	46,414	7,336
特別利益		
固定資産売却益	99	-
新株予約権戻入益	-	6,746
特別利益合計	99	6,746
特別損失		
固定資産除却損	1,055	-
特別損失合計	1,055	-
税金等調整前四半期純利益	45,459	14,082
法人税等	14,300	5,399
四半期純利益	31,158	8,683
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,158	8,683



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	31,158	8,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	464	△293
為替換算調整勘定	△17,016	3,212
その他の包括利益合計	△16,552	2,918
四半期包括利益	14,606	11,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,606	11,602
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。